

報道関係者各位

介護保険対象の5種に絞った 第2回ユニバーサルデザイン アワード授賞式開催

最優秀賞は トイレの仕切りとして活用できる「ブラインドア(炭型)」

20歳大学生が家族の介護実体験をもとに考案 高い意匠性を評価

介護向け住宅リフォーム事業を行う株式会社ユニバーサルスペース（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：遠藤 哉）は、第2回デザインアワード『安心・安全な住み良い家づくりにつながるユニバーサルデザイン』を開催し、選考の結果、最優秀賞をはじめ、各賞の受賞者が決定し、2020年12月3日にオンラインで授賞式をおこないました。

本アワードは、「高齢化社会の暮らしを豊かにする」をキーワードにデザインアイデアを広く募集しました。これは才能ある学生やデザイナーと出会い、応援、コラボレーションを目的としたコンペティションです。

■介護リフォームで暮らしを豊かに 幅広い年齢層からエントリー

当社2回目となる本アワードでは、介護保険の対象となる「手すりの取付」「段差解消」「床材変更」「扉の交換」「洋式便器への交換」の5種類にテーマを絞り、高齢者、家族、介護者らがほっと笑顔になれるデザインアイデアを募集しました。

今回、14歳～54歳の幅広い年齢層から15名のエントリーがあり、様々なデザインアイデアが提案されました。



オンライン授賞式の様子

■最優秀賞 大学生が家族の介護体験をもとに念入りリサーチ トイレまわりに着目した実用性ある作品

トイレ用、炭ブラインド型自動ドア
ブラインドア（炭型）

テーマ：「扉の交換」

提案背景

在宅介護で最も困難なポイントとなるのは「トイレまわり」であると考えられる。介護施設などのトイレでは、排泄介助や、高齢者にとっての障壁となってしまうので「扉」はつけていない場合が多い。その代わりにつけているシャワーカーテンはすぐに壊れるなどの課題がある。在宅介護の場合、扉をはずしてしまうことは難しく、自動ドアをつけるスペースはない場合が多い。また、臭いなどの問題も発生する。本提案はこれらの課題を考慮したものである。

提案内容

「ブラインドア」は、自動で昇降するブラインド型のトイレ扉である。

誰でも手を伸ばしやすい位置にある「ボタン」を押すことで、自動でブラインドアが閉開する。これによって扉による排泄の障壁を除くことができる。

炭が編み込まれたブラインド素材によって脱臭効果が期待でき、臭い問題を解決することができる。

また、シャワーカーテンや扉無しの場合と比較して、ブラインドをおろしておくことで、視線を完全に遮ることができ、耐久性もあるので、ドアとしての機能を果たすことができる。さらに、従来の扉の交換よりもパッケージとしての汎用性が高く、より安価で実現できると考えられる。



最優秀賞に選ばれたのは和歌山県在住の20歳の大学生、山本創大さんの「ブラインドア（炭型）」です。

在宅介護で困難なポイントである「トイレまわり」に着目した作品。ブラインド型の扉は自動で昇降し、炭が編み込まれたブラインド素材を使用し脱臭効果も。ブラインドをおろしておくことで視線を完全に遮ることができます。また、耐久性もあるのでドアとしての機能を果たすことができます。

受賞に際して、山本さんは「家族の介護実体験インタビューし、在宅介護で困難なポイントと/orあるトイレに着目しました。在宅の介護のみならず介護施設でもシャワーブラインドのようなもので仕切っているが、すぐに壊れるといった悩みもわかりました。これら課題を解決するデザインとして考案しました」とコメントしました。

審査員からは、「全体的な完成度が高い」「交換可能なモノに対してシンプルに設置できること、扉の可能性として開き戸か引き戸ではなく、第3の視点として上下に着目した点が良い」など評価されました。

その他の受賞作品も、デザイン性と実用性の両方が兼ね備えられ、簡単なアイデア止まりではなく、しっかり考えられた作品が多い傾向でした。

受賞した作品は商品化も検討しており、今後も介護リフォームの理解促進につながる取り組みを積極的におこなっていきます。

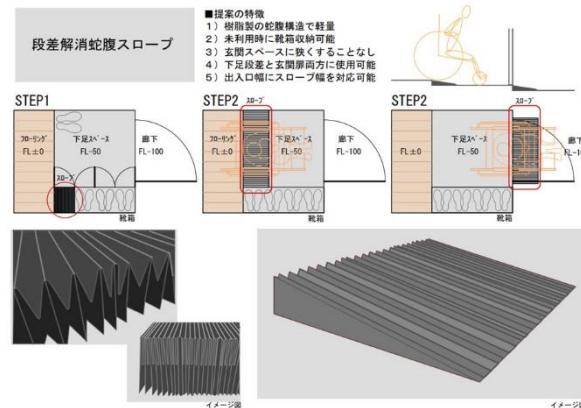
【受賞アイデアについて】

最優秀賞 山本創大さん (20歳)
「ブラインドア (炭型)」
※前述に詳細を記載

優秀賞 毛塚順次さん (48歳)
「段差解消蛇腹スロープ」

樹脂製の蛇腹構造で軽量、かつ、
スロープ幅を変更でき、靴箱に収納
できるので玄関スペースを広く使えます。

持ち運びが可能で、家の玄関以外にも、駅
の重いステンレスのスロープ代替にも
活用可能などが汎用性の高さ・
低価格で提供できる可能性などが
評価されました。



中村鴻成さん (20歳)
「easy grab」

ドアノブを握りやすく誘導するための
手すり。手すりからドアノブまでを
シームレスに繋ぐことができます。

握りかえることなくドアノブをつかめる
ので利用者目線のデザインである
点や、手すりとノブが一体化され家の
中の風景が複雑にならない点が評価され
ました。



佳作

石川詞央里さん (20歳) 「森の木格子」

介護者だけでなく、家族もホッとできるお風呂の手すり。
格子状の手すりが風呂場を一周しているので、浴槽のどこにでも手すりがあり、また、木の香りと見た目で癒されるバスタイムを楽しめます。

機能性だけでなく、殺風景なお風呂の空間性を温かくするデザインと評価されました。



山田寛さん (36歳) 「ほそいほそい柱のような手すり」

床と天井に棒をつっぱる細い柱のような手すり。あと施工でも、家の空間性や見た目を複雑にせずに美しく設置できます。
細い柱のような手すりの位置は、介護する側とされる側がお互いコミュニケーションを取りながら位置を決めていきます。

一般的には横に設置する手すりを縦にし、家の空間性を保つことができる点、また、利用者も身長や姿勢を問わず利用ができる点が評価されました。



石原未悠さん (20歳) 「楽しむ壁」

自分で色や形を選択してカスタマイズできる壁。ボルダリングのホールドは立ち上がる時の支えとして使え、自分が使いやすいように場所を変更できます。

視覚が不自由な高齢者も一緒に住む家族も視認性あるカラフルな支えを楽しんで活用できる点が評価されました。



【デザインアワード 授賞式の概要】

日時	: 2020年12月3日 (木)
場所	: オンライン
参加者	: 受賞者5名、審査員4名
タイムスケジュール	: 13:00 開会
	13:05 主催者挨拶
	13:15 表彰・審査員総評
	14:00 終了

【第2回デザインアワードの概要】

テーマ : 『安心・安全な住み良い家づくりにつながるユニバーサルデザイン』

内容 : 介護保険の対象となる「手すりの取付」「段差解消」「床材変更」「扉の交換」「洋式便器への交換」の5種類にテーマを絞り高齢者、家族、介護者のみんながほっと笑顔になれるデザインアイデアを募集。

審査基準

- ・テーマに沿ったデザイン提案であること
- ・新規性、オリジナリティがあること
- ・私たちの生活をより豊かにし、喜びあふれるものにすること
- ・アイデアレベルから実施設計レベルまで幅広く叡智を求めます

審査員 : • 丸谷博男（建築家、エコハウス研究会代表理事、一般社団法人 ARTISAN 日本代表理事）
教授) • 若原一貴（建築家、日本大学芸術学部デザイン学科准教授）
• 加島守（高齢者生活福祉研究所 理学療法士 所長）
• 遠藤哉（株式会社ユニバーサルスペース代表取締役）

一般：社会人、学生、高校生、デザイナーなど一切資格を問いません。

賞／賞品	：	最優秀賞	1点	10万円
		優秀賞	2点	5万円
		佳作	3点	1万円

提出物 : プレゼンテーションシートA3片面2枚以内
下記内容を自由に表現
作品タイトル・コンセプト文
作品イメージ(写真・イラスト・CG・図面など)

スケジュール	受付	10月1日～11月18日（水）
	作品応募	10月1日～11月18日（水）
	審査日	11月26日（木）
	結果発表	11月27日（金）
	授賞式	12月3日（木）Zoomにて開催
	応募方法	：WEBサイト（本アワード用の特別サイトからエントリー） https://universalspace.jp/competition/

主催 : 株式会社ユニバーサルスペース

協賛 : 株式会社小泉神奈川

問い合わせ : info@universalspace.jp



超高齢社会を迎える日本。		■受付・作品募集
これからの介護の主流は施設ではなく、在宅介護です。	安心で安全、快適な住まいはどうのよものでしょうか?	10/1 (木) ~11/18 (水)
第2回デザインアワードでは、介護保険の対象となる	審査日	11月26日 (木)
「手すりの取付」「報知連鎖」「床材変更」「扉の変更」	結果発表日	11月27日 (金)
「洋式便器への交換」の5種類でテーマを競う高齢者、	授賞式	12月3日 (木)
家族、介護者の方のみんながほっと笑顔になれるデザインア	■優秀賞	1点：10万円
ワードを残します!	■優秀賞	2点：5万円
	■佳作	3点：1万円

現在ランチャーズ加盟店は93店舗展開。本アワードは「高齢社会の暮らしを豊かにする」をキーワードに新進デザイナーや発想豊かな学生の皆様と出会い交流、コラボレーションを目的としたコンペティションです

神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-26 <https://universalspace.jp/competition/>
お問い合わせ: info@universalspace.jp

【店舗概要】

店名 : 介護リフォーム本舗

設立 : 2013 年

店舗数 : 全国に 100 店舗 (直営店は 4 店舗)

(北海道 1 店舗、宮城県 1 店舗、東京都 24 店舗、
神奈川県 12 店舗、埼玉県 11 店舗、群馬県 2 店舗、
茨城県 1 店舗、栃木県 2 店舗、千葉県 9 店舗、
愛知県 4 店舗、三重県 1 店舗、岐阜県 1 店舗、静岡県 6 店舗、
大阪府 10 店舗、兵庫県 2 店舗、福井県 1 店舗、富山県 1 店舗、
石川県 2 店舗、岡山県 1 店舗、広島県 3 店舗、福岡県 3 店舗、
熊本県 1 店舗、鹿児島県 1 店舗)

URL : <https://kaigor.com/>

工事実績 : 56,000 件

2013 年度 3,700 件 / 2014 年度 4,000 件 / 2015 年度 4,200 件

2016 年度 5,000 件 / 2017 年度 7,100 件 / 2018 年度 8,500 件

2019 年度 10,500 件

売上高 : 2013 年 12 月 3 億 6,500 万円 / 2014 年 12 月 3 億 8,300 万円

2015 年 12 月 4 億 1,700 万円 / 2016 年 12 月 4 億 6,100 万円

2017 年 12 月 6 億 2,600 万円 / 2018 年 12 月 7 億 8,200 万円

2019 年 12 月 10 億 900 万円

特徴 : ・業務を効率的に回し、単価が低くても収益につなげるビジネスモデルを構築し
フランチャイズ化。

発明の名称「介護リフォーム支援システム」特許第 6222945 号

・介護事業者や施工を実施するリフォーム業者との連携をネットワーク上でシステム化。

見積作成、介護保険の申請書類の作成、顧客情報、工事内容、部材の手配などの事務作業を
一括で管理できるクラウドシステムを構築。

・画像認識 AI(人工知能)を活用し、介護リフォーム工事の見積作成を自動化するアプリを開発。

発明の名称「リフォーム業務支援システム リフォーム業務支援サーバー」特許第 6391206 号

【会社概要】

社名 : 株式会社ユニバーサルスペース

代表 : 遠藤 哉

本社 : 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 3002

ホームページ : <https://universalspace.jp/>

TEL : 045-392-6015

設立 : 2009 年 1 月

資本金 : 2,000 万円

従業員数 : 28 名

事業内容 : フランチャイズ事業/介護リフォーム/リフォーム/設計監理・施工管理業務/
宅地建物取引業/保険代理業



<本件に関する問い合わせ先>

ユニバーサルスペース広報事務局 担当 : 杉村 (携帯 : 070-1389-0175)

TEL: 03-5411-0066 FAX: 03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp